

クラブ訪問 221

「仲間と一緒に勝利をつかむ」

成田デルフィン

私たち成田デルフィンは、小学1〜6年生の男女28人で日曜日に橋賀台小学校の体育館で活動しているハンドボールクラブです。

練習ではドリブルやパス、シュートなどの基礎練習を行います。ハンドボールは攻守の切り替えが早いので状況判断を素早くする必要があります。チームメートとの連携が重要になります。そのため、パスからシュートまでの連携を意識し、試合形式の練習も取り入れています。

監督には、どこにどのようなパスを出せば良いか常に考えるようにと指導を受けています。腕を振り下ろして投げるオーバードハンドパスや、背面に腕を振り後ろへ投げるバックパスなど、状況によって使い分けられることができれば大きな武器になります。初めは思うようにできませんでしたが、仲間の動きを意識し、状況を見て効果的なパスを通せるよう繰り返し練習することで、少しずつ上達してきました。うまくできるようになったときはうれしくて、早く試合で試してみたくります。そして、試合で狙い通りにパスが通って得点につながったときは最高の気分になります。

今年クラブ出身の先輩たちが中学の全国大会で優勝し、とても刺激を受けました。もっと強くなって誰にも負けないチームにしていきたいです。



長友 治人 キャプテン(6年生)

テレビでハンドボールの試合を観たことがきっかけで3年生からクラブに入りました。新しく入った人には丁寧に教えています。



パスは仲間と息を合わせて



迫力あるジャンプシュート

なかまと一緒

218

「17音に思いを込めて」

たまゆら俳句会

私たち「たまゆら俳句会」は毎月第4火曜日に橋賀台公民館で活動しています。

俳句は17音で情景や心情を表す世界一短い詩と言われています。少ない字数で言葉を選し、いかに伝えたいことを表現できるかが俳句作りの魅力。良い句は言葉から情景が浮かび、心に余韻を残します。そんな印象深い句が作れるよう、日々、勉強しています。



胸を打つ一句を目指して

句の内容は、ふとしたことから思いつくので、普段から小さな出来事に目を向けるようにすることが大切です。内容が決まったら表現したいイメージに合う言葉を考えます。俳句は一字変えるだけで印象が違ってくるので、言葉選びは慎重に行います。あれこれ考えを巡らせて完成させた句には愛着が湧きます。

活動では、みんなが作ってきた句の中から良いと思うものを選び、講評を行います。自分の句が仲間から選ばれると、とてもうれしく思います。

また、俳句を選ぶにも感性と知識の両方が必要です。選句力が付くと、俳句も上達すると言われています。選句力を付けるためには、講評の時に、選句の理由など自分との考え方の違いに注意しながら仲間の意見を聞くことが大切です。とくに長年の経験者の意見は、視点や言葉の解釈など俳句の捉え方が深く、参考になります。それと同時に、俳句の奥深さを実感し、もっと深い解釈ができるように頑張ろうと意欲が湧きます。

まだ長い道なのですが、胸を打つような俳句が詠めるよう、これからも頑張ります。



俳句展に出品することも



活発な意見交換が

スクスクのびのび

480



いなみ さくらこ
稲見 桜子ちゃん(6カ月)

すくすく成長中です♥



しんぼし はやて
新橋 颯くん(5歳・右)
かわな れん
川奈 蓮くん(4歳)

お祭り大好き!!



さかもと まさむね
坂本 正宗くん(6カ月)

元気モリモリ大きくなってね!一緒に成長しているこー!!

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ

○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課 koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)

○問い合わせ 広報課 ☎20-1503